

援農ボランティアアツアーについて



弘前市農林部農政課

1 ツアーの概要・経緯

2 ツアー内容

3 関係者からの声

4 今後の方針

1 ツアーの概要・経緯

ニッカウヰスキー(株)

- ・令和2年度～独自に援農ボランティアを実施
- ・りんごを原料とする「ニッカシードル*」を製造

アサヒビール(株)

- ・令和4年度～独自に援農ボランティアを実施
- ・「ニッカシードル*」の販売を担っている



- ・両企業より企業版ふるさと納税各500万円（計1,000万円）
- ・りんご産業の活性化に向けた事業展開を希望

弘前市

- ・補助労働力不足解消の一助
- ・りんご、シードルのファン拡大
- ・観光誘客、関係人口の増加



「農業・観光連携りんご産業活性化事業」
＝令和5年度から援農ボランティアツアーの企画・実施

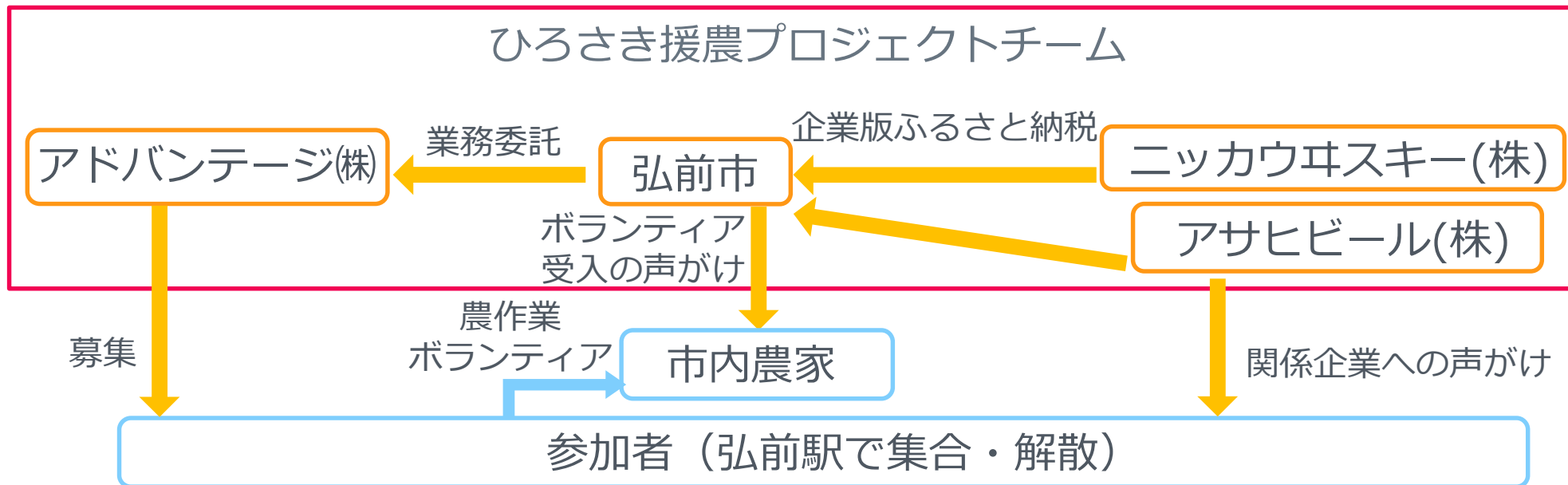
旅行代理店

ツアーに関する業務委託

*現在の名称は「ニッカ弘前生シードル」

1 ツアーの概要・経緯

■企画・運営（令和6年度）



■概要

開催時期：令和6年10月～11月の計4日間

参加者：全国から230名

（10/19荒天中止、実数165名）

旅行代金：0円（弘前駅集合～解散までの参加費）

主な作業：りんごの収穫

受入農家：19名（受入2～10名）

オプションプランの実施

▶生産者との交流会（中止）

▶みっちり援農2日間コース

▶街歩き観光コース

▶日帰り温泉送迎コース

※別途旅行代金が必要

2 ツアー内容

行程（A M）

集合

08 : 00～

弘前駅集合
→グループ分け
→タクシーで各中継拠点へ



準備

08 : 30～

中継拠点でオリエンテーション
→備品配布
（雨合羽、長靴、手袋、タオル）
→受入農家と合流し、
タクシーで園地へ移動



作業

09 : 00～

収穫作業



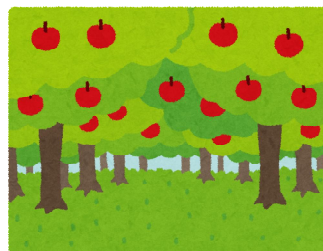
2 ツアー内容

行程（P M）

昼休憩

12 : 00～

タクシーで園地から拠点へ
→拠点で昼食（弁当配布）
→拠点から園地へ移動



作業

13 : 00～

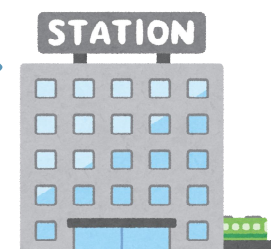
収穫作業



解散

15 : 30～

タクシーで園地から拠点へ
→備品返却
→解散式
→拠点から弘前駅へ



2 ツアー内容

■ 特徴

移動の手配

市内移動は全てタクシー
(全額事業費で負担)

農家負担軽減

備品等の準備

- ・ 雨合羽（貸与）
- ・ 長靴（貸与）
- ・ 今治タオル
- ・ 手袋
- ・ 昼食（弁当）
- ・ シードル（お土産）

宿泊補助

補助：1泊/3,000円
※お1人様2泊まで適用
先着100泊まで

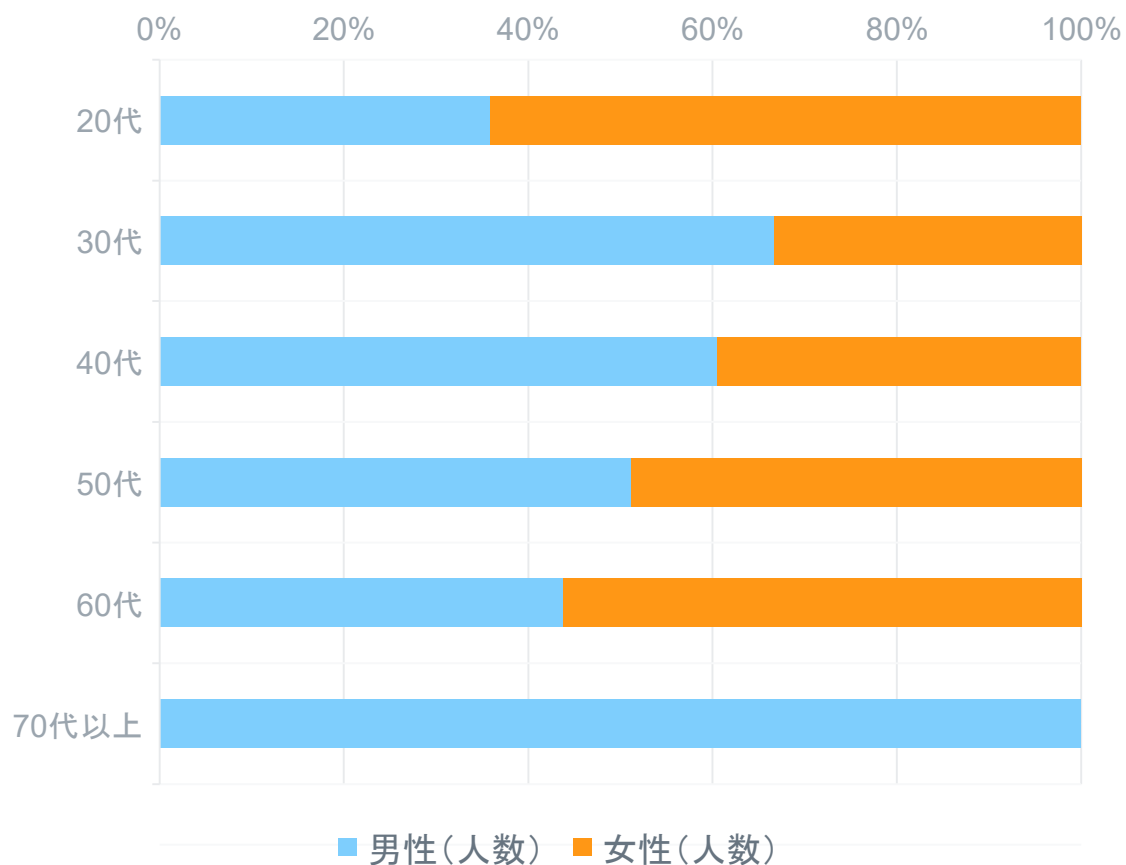
弘前滞在延伸により
観光分野へ効果を波及



3 関係者からの声

参加者の属性（アンケートより）

■年代別・性別



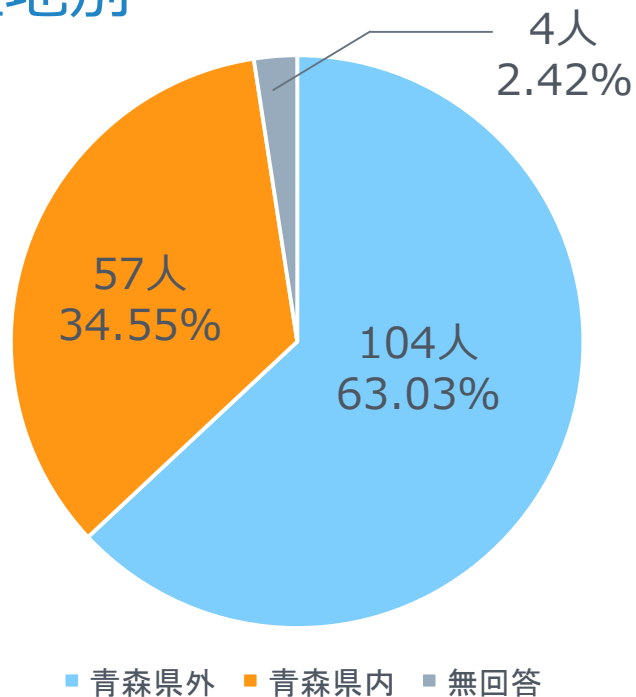
性別	男性 (人数)	女性 (人数)	男性 (比率)	女性 (比率)
20代	14人	25人	35.90%	64.10%
30代	14人	7人	66.67%	33.33%
40代	23人	15人	60.53%	39.47%
50代	22人	21人	51.16%	48.84%
60代	7人	9人	43.75%	56.25%
70代 以上	4人	0人	100.00%	0.00%
合計	84人	77人	52.17%	47.83%

※無回答 4人

3 関係者からの声

参加者の属性（アンケートより）

■ 居住地別



青森県外（例：東京都など）	104人
青森県内	57人
無回答	4人

■ 職業別

民間企業（りんご関連産業）	21人
民間企業（りんご関連産業以外）	109人
公務員	7人
自営業	4人
パート・アルバイト	8人
学生	1人
専業主婦	5人
会社員	3人
回答しない	2人
定年者	1人
農業	0人
無回答	4人

3 関係者からの声

■ 参加者の声（アンケートより）

- ・ 大変楽しく、農家の大変さが良くわかった。
- ・ 来年は仲間を誘って参加したい。少しでも農家の方の役に立てていれば幸い。
- ・ りんごや弘前のことが好きになり、また来たいと思いました。
- ・ 農家の方が優しく、丁寧に教えてくれた。
- ・ 小学生の子供も参加できれば良いと思う。
- ・ 小学生も含めた家族で体験できれば、子供達への教育にもつながると思う。
- ・ オプショナルツアーの2日間プランは朝が早く解散が遅く、辛い。もう少し日程が短くても良い。
- ・ 農家さんの手助けができたのか心配。



3 関係者からの声



■ 受入農家の声

- ・ 積極的に働いてくれて助かった。
- ・ りんごのことを知ってもらえて良かった。
- ・ 他県、他産業の人と関わることでいい刺激になった。
- ・ 弘前りんごをPRできる良い事業だと思う。
- ・ 援農ボランティアを継続させてほしい。
- ・ 雨天時が心配。
- ・ 未経験者に教えるのが大変。

4 今後の方針

令和7年度の実施に向けて

■ 親子参加ニーズへの対応

- ・ 子供向けの体験プログラム構築 等

■ 交流機会の創出

- ・ 受入農家と参加者を交えての懇親会 等
※令和6年度は荒天中止のため未実施

■ オプショナルツアー内容の改善

- ・ 参加者負担の少ない行程の検討 等